

2024年度総会の報告

三嶋秀恒（松戸市）

開催日：2024年2月12日（月・祝）

場 所：千葉市生涯学習センター 大研修室、総会出席者：48名

特別講演（講師紹介：山口正明） 13：05～14：20

「里山の希少種と外来種」

講師：大島健夫 氏 千葉県生物多様性センター勤務、詩人、ネイチャーガイド
千葉市野鳥の会会長、環境省希少野生動植物種保全推進員

総会（司会・進行：佐野由輝） 14：30～16：15

議長：勝股政雄（船橋市）、書記：藤井佳代（千葉市）・菅澤麗子（成田市）

議題：2023 年度事業実績・会計報告・監査報告、2024 年度事業計画・予算（案）

* 特別企画：「園生の森」 09：45～11：30

担当：太田慶子、 参加者数：25 名

* 懇親会：千葉公園内ボートハウスレストラン 16：30～18：30

担当 三嶋秀恒 参加者数：25 名

総 会：伊藤代表からの挨拶の後、勝股さんが議長、藤井佳代さん（千葉市）と菅澤さんが書記に選出され、議事進行しました。行事報告は伊藤代表から PPT を使用して詳細に解りやすい発表があり、会計報告は浦部さん、会計監査報告は藤田さんからで、承認されました。続いて 昭和の森観察会・大草谷津田いきものの里自然観察会・東葛しぜん観察会・研修会・SSN・受託事業等々の行事案および予算の提案で、夫々の担当役員から熱のこもった説明があり、承認されました。

特別講演：テーマ「里山の希少種と外来種」

大島健夫氏はポエトリー・スラム・ジャパン 全国大会で優勝の詩人。子どものころから生きものが大好きで、房総半島の里山を中心に生きものの観察をしており 時にはネイチャーガイドとして里山の生きものの魅力を伝えています。「外来生物のきもち」・「希少生物のきもち」などの著書があり、「里山の希少種と外来種」をテーマに、トークも軽妙で講演を聞いていて楽しい。里やまの希少種問題と外来種問題は 人間の活動の問題そのもの、「里山の自然」「里山の生態系」は 人と自然とをつなぐブリッジとして機能するのではないだろうか、の結びでした。

特別企画（自然観察会）：スポーツセンター駅から徒歩 10 分の「園生の森公園」

街中の台地は樹林地で北にある谷津には調整池、標高差はおよそ 13mあり、市街地の中で貴重なみどりとなっている。広さは約 7ha で開園から 18 年経過し、「園生の森公園を育てる会」が協働による公園づくりの活動を行っている。案内人は公園で活動をされている太田慶子さん、穏やかな日和に恵まれ、森に入ると何か発見・感動がある。アマナやキツネノカミソリは未だ見えないが、樹皮にそっと止まるシロフフユエダシヤク、葉の裏側や木製手すりの裏にはジョロウグモの卵のうやヨコヅナサシガメの団子状、テントウムシやクロウリハムシ、カメムシの仲間などたくさん見つけて… 石垣のところにイヌノフグリが咲いている。樹林地ではコゲラ・エナガ・ヤマガラ・シジュウカラなどバードウォッチング、少し寒かったけれど楽しい観察会でした。

懇親会：4 年ぶりの開催で 千葉公園のカフェハーモニーに移り、小西さんの乾杯の音頭で、美味しい料理と飲み物で歓談して親睦を深めました。天気が良く風の弱い一日で、楽しい雰囲気です。久しぶりの交流でした。